

平成 27 年 9 月 25 日

グループ2の検討方針と進捗について

第 1 回会合の概要

日時 平成 27 年 8 月 19 日(水)13:30～16:20

場所 JANSI 13 階 第 4 会議室

出席 阿部(東北大学)、有馬(九州大学)、永瀬(JAEA)、岡崎(MRA)、

尾形(電中研)、安田(電事連)、福田(MHI)、鈴木(JANSI)、

巻上幹事(東京電力)

(敬称略)

1. 課題の確認

- ・グループ2で検討対象の課題調査票 2 件は、核燃料部会員が取りまとめたものではなく、昨年度まで核燃料部会で検討を進めていた具体的な課題が必ずしも記載されていないことを確認。

2. 検討の進め方

- ・1.を受け、これまでの核燃料部会の検討結果を参照し、改めて課題抽出を行う。
- ・シビアアクシデント時の溶融炉心の挙動などに関する課題も、抽出対象に含める。
- ・課題抽出にあたっては、次の資料を参照する。
 - ・平成 26 年度に核燃料部会で作成した課題調査票(具体的な課題の記載を削除する前のもの)
 - ・平成 25 年度に核燃料部会で作成した研究開発課題表
 - ・使用済燃料プールの冷却材喪失に関する OECD-NEA の Status Report
- ・課題の抽出は、次の観点で実施する。
 - ・他グループと重複する可能性を恐れず、グループ2の視点(安全解析高度化/使用済燃料の安全評価技術の高度化への寄与)で抽出する。
 - ・シビアアクシデント時の課題も、核燃料分野として貢献すべきものは抽出する。
- ・燃料の安全高度化ロードマップに直接関連する課題と、そうでない課題との区別を意識しながら具体的な作業の進め方を検討する。

第 1 回会合以降の検討状況

- ・各メンバーによる課題抽出の結果を、9/18(金)締切で集約。
- ・集約結果と9/25WGの結果を踏まえ、検討を継続する予定。

以上